Logitec

Bluetoothバージョン2.1 + EDR対応

Bluetoothボイスチャット用ヘッドセット

LBT-PCVM01シリーズ　取扱説明書 V01

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書は、Bluetoothヘッドセットの使用方法や、安全にお取り扱いいただくための注意事項などを記載しています。本書の内容を十分にご理解いただいた上で本製品をお使いください。また、本書は、いつでも読むことができる場所に大切に保管しておいてください。

製品の特長

本製品は、Skype（スカイプ）やWindowsLiveメッセンジャーなどのボイスチャットに最適なBluetoothヘッドセットです。Bluetoothによるワイヤレス接続により、ケーブルのわずらわしさなくボイスチャットができます。

「Bluetooth 2.1」に対応していますので、同規格を満たした機器と、安全かつ簡単にのペアリングできます。

- 直径28mmの大型ヘッドフォンユニット、口元まで伸ばせるマイクにより、明瞭な音声で快適にボイスチャットができます。
- 大容量のリチウムポリマーバッテリーを搭載し、1回の充電（2時間）で約11時間の連続通話、150時間以上の待機時間を実現します。
- Bluetooth対応の携帯電話と組み合わせて使用することもできます。

接続のときに必要な情報です。

■携帯電話やパソコンなどから検索するときの本製品の名称	LBT-VM01
■パスキー	0000（ゼロ4つ）

※ パスキーは、Bluetooth2.0以下の規格の機器と接続する場合に必要です。

パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには以下のものが含まれています。
お使いになる前にパッケージの内容を確認してください。

□ ヘッドセット本体	1台
□ USB 充電ケーブル	1本
□ 取扱説明書（保証書付）	本書

重要なご注意

付属のUSB充電ケーブルは、本製品専用です。本製品の充電以外には利用しないでください。コネクタ形状が同じでも、ピンアサイン（結線）が異なることがあり、故障の原因となります。同様に、他の製品に付属の充電ケーブルで本製品を充電しないでください。

STEP 1 充電します

パソコンのUSBポートに、付属のUSB充電ケーブルで接続して充電します。
バッテリー残量が低下すると、LEDランプが赤色に点滅し、20秒ごとに警告音が鳴ります。

充電が完了するまで、約2時間かかります。
2時間経過してもLEDランプが消灯しない場合は、充電ケーブルを取り外し、いったん充電を取りやめてください。2時間を越えて充電を続けると、電池寿命が短くなったり、故障の原因となります。
充電中は、本製品を使用できません。

［充電時の接続］

1. 付属のUSB充電ケーブルの充電コネクタを、製品本体の充電コネクタに接続します。
2. USB充電ケーブルのシリーズAコネクタを、パソコンのUSBポートに接続します。
3. LEDランプが赤色に点灯し、充電が始まります。充電が完了すると、LEDランプは消灯します。

STEP 2 ペアリングします（機器の登録）

本製品をパソコンと組み合わせて使用するには、ご使用になるパソコンとペアリング（機器を初期登録する作業）をおこなう必要があります。
ここでは、弊社製USBアダプタ「LBT-UAN03」を利用してペアリングする手順を説明します。ご使用になる機器側の操作については、お手持ちの機器の取扱説明書をお読みください。

各部の名称とはたらき

■ ヘッドセット全体

装着方法

ヘッドフォンユニットが耳に当たるように、頭の上からかぶせるように装着します。
そのあと、マイクの位置を調節してください。

■ ユニット部分

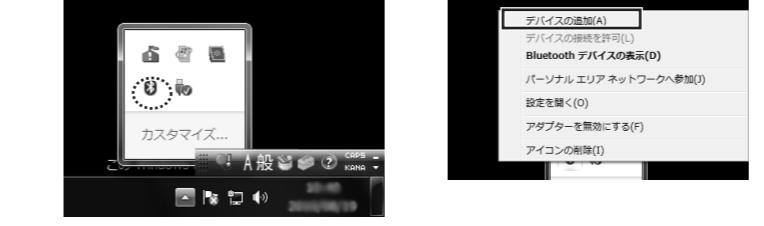
① ヘッドフォンユニット	耳に装着する部分です。用途に応じて、使いやすい方の耳に装着してください。装着の際は、ユニットが耳の中央に当たるように位置を調節してください。
② ヘッドバンド	長さを調節できます。
③ マイク	通話用のマイクです。約300度回転し、位置を調整できます。左耳への装着もできます。
④ マルチファンクションボタン	
電源ON	LEDランプが青色に点灯するまで(約5秒間）長押しすると、電源が入り、直前まで接続していた機器との接続を試みます。接続が完了すると、LEDランプがゆるやかな点滅（数秒に1回、1秒程度）に変わります。直前まで接続していた機器がない場合、ペアリング済みの他の機器からの接続を待ちます。どの機器からも接続操作がない状態が約10分間続くと、電源がOFFになります。
ペアリングモード	電源OFFの状態から、LEDランプが赤色と青色に交互に点滅するまで（約8秒間以上）長押しして、離します。
電源OFF	電源がONのときに、LEDランプが赤色に点滅するまで（約4秒以上）長押しすると、電源がOFFになります。
⑤ LEDランプ	電源やペアリングの状態を示すLEDランプです。ランプの表示と本製品の状態については、マルチファンクションボタンの説明をお読みください。
⑥ 充電コネクタ	充電するときに、付属のUSB充電ケーブルを差し込みます。コネクタはカバーで保護されています。
⑦ 音量調節スイッチ	スイッチを左右に動かすことで、音量を調節します。

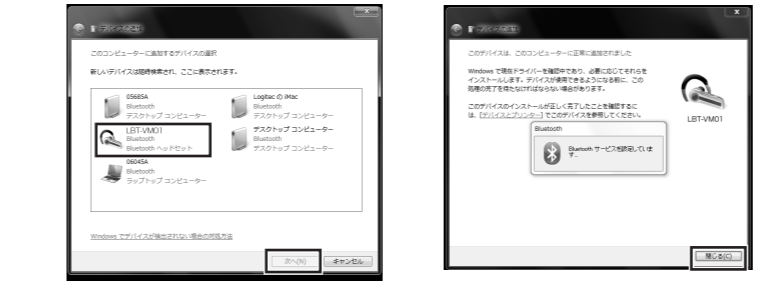
1. 本製品の電源がOFFの状態で、本製品のマルチファンクションボタンを押し続けます。LEDランプが赤／青色交互の点滅に変わったら（8秒以上）、ボタンから手を離します。

ボタンを押し続けている8秒間に、LEDランプの表示は次のように変わります。

青点灯（電源ON）→ 赤青点滅（ペアリングモード）

2. パソコンのタスクバーにある、Bluetoothのアイコンをクリックします。

3. ［デバイスの追加］を選択します。

4. ［LBT-VM01］のアイコンを選択し、［次へ］をクリックします。

5. ［閉じる］をクリックします。

6. 正常に接続が完了すると、右の画面が表示されます。

これでペアリングは完了です。

ボイスチャット

ご使用のソフトウェアによって、操作方法は異なります。
詳細はご使用のソフトウェアまたはOSのマニュアルなどをお読みください。

- 使用するボイスチャットソフトによっては、スピーカー／マイクを切り替える（選択する）必要があります。
- 着信／終話操作は、パソコン上で操作してください。

STEP 3 基本操作

電源のオン／オフ

■ 電源ON

本製品のマルチファンクションボタンを、LEDが点滅するまで（約5秒）長押しします。直前まで接続していた機器との接続を試みます。接続する機器を変更する場合は、使用したい機器との接続が完了するまで、直前まで使用していた機器の電源を切るか、Bluetooth機能を無効にしてください。

携帯電話より「LBT-VM01からの接続を許可する」操作や、「接続」操作が必要な場合があります。

■ 電源OFF

本製品のマルチファンクションボタンを4秒以上長押しします。
LEDランプが青色に点滅したあと、消灯して電源が切れます。

電源が切れる前にマルチファンクションボタンから指を放すと、携帯電話によってはリダイヤル機能が働き、発信される場合があります。

オートパワーオフ機能について

携帯電話の電源を切るなど、接続中の機器からの送信が途切れた場合や、電源をONにしたあと、ペアリング相手がいない場合、約10分後に電源がOFFになります。
※電源がONの間は、LEDランプは、青色にゆるやかな点滅を続けます。

携帯電話で通話する

本製品は、携帯電話と組み合わせて、ヘッドセットとして使用できます。

- 以下に説明する機能は、ヘッドセットプロファイル（HSP）およびハンズフリープロファイル（HFP）でペアリングしたときのみ利用できます。
- 携帯電話の仕様によっては、以下に説明する本製品の操作に対する携帯電話の動作が異なることがあります。

■ 携帯電話とのペアリング

本製品をペアリングモードにしたあと、携帯電話から本製品を検索します。デバイス名「LBT-VM01」が検索画面上に表示されますので、選択して登録します。

携帯電話と組み合わせて使用する場合は、携帯電話の機能を本製品で使用できるように、ハンズフリープロファイル(HFP)でペアリングすることをお勧めします。
ハンズフリープロファイルがない場合は、ヘッドセットプロファイル（HSP）でペアリングしてください。

■ 電話を受ける

ヘッドフォンから着信音が聞こえたら、マルチファンクションボタンを押します。

携帯電話によっては、仕様の関係で、Bluetoothヘッドセットに着信メロディを設定できない機種もあります。

■ 電話を切る

通話状態で、マルチファンクションボタンを1回押すと、電話が切れます。

■ 電話を発信する

携帯電話で発信操作のあと、本製品へ切り替えます。

＜一般的な操作＞

docomoの場合	発信後に「通話」ボタンを長押しする
auの場合	発信後に「EZ」ボタンを押す

■ リダイヤルする（最後に発信した通話先）

HFP（ハンズフリープロファイル）でペアリングしたときには、マルチファンクションボタンを「カチカチッ」と2回押すことで、最後に発信した通話先にリダイヤルできます。

不在着信など、直前に着信した相手への折り返し発信はできません。

基本仕様

製品型番	LBT-PCVM01シリーズ（デバイス名：LBT-VM01）		
キャリア周波数	2.402～2.480GHz		
Bluetooth仕様	Bluetooth Ver.2.1+EDR		
周波数拡散方式	FHSS（Frequency Hopping Spread Spectrum）		
伝送距離	Class 2　最大半径 10m（障害物なきこと）*1		
対応プロファイル	HSP（Headset Profile）、HFP（Handsfree Profile）		
同時使用可能な機器数	通話対応機器×1		
記憶可能なペアリング台数	8台		
連続待受時間	約150時間 *2		
通話時間	約11時間 *2		
環境条件	動作時	温度	5～35℃
		相対湿度	20～80%（ただし、結露なきこと）
	保管時	温度	−5～+50℃
		相対湿度	20～80%（ただし、結露なきこと）
入力電圧	DC 5V（USB電源から充電）		
バッテリータイプ	リチウムポリマー充電池		
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	109×168×51mm（突起部分をのぞく）		
質量	約47g		

*1 理論値です。また、距離は、通信対象のBluetooth機器の性能や、周囲の環境に依存して変化します。
*2 通信対象のBluetooth機器との距離が長い場合は、それぞれの消費電力が増加するため、時間が短くなる場合があります。

- 2.4GHz帯を使用する無線LAN（IEEE802.11g/b/n）との併用は、電波干渉の発生により、利用できないことがあります。
- 本製品に対して、すべてのBluetooth機器の動作を保証するものではありません。

→ ウラ面も必ずお読みください

取り扱い上の注意

■正しく安全にお使いいただくために

本製品を正しく安全にお使いいただくために、以下の重要な注意事項を必ずお守りください。

警告 ここに記載された事項を無視すると、使用者が死亡または障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

●車の運転中には使用しないでください。
車の運転中にはヘッドセットを使用しないでください。また、歩行中でも、駅のホームや交差点、工事現場などでは本製品の使用を中止し、周囲の状況をよくご確認ください。

●万一、異常が発生したときは. . .
本製品から異臭や煙が出たときは、ただちに使用を中止し、電源を切り、充電中の場合は、本製品をパソコンまたはUSB電源から抜いてください。その後は本製品をご使用にならず、販売店にご相談ください。

●高温のまま放置しないでください。
本製品は精密な電子機器です。高温、多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

●車の中には絶対に放置しないでください。
本製品を高温の車内に長時間放置しておくと、内部電池の破裂・発火・故障の原因となり大変危険です。

●充電には付属の充電機器以外使用しないでください。
本製品は内部電源にリチウムポリマー電池を使用しています。この電池は扱いを誤ると発火の危険性があります。本製品の充電には、付属のUSB充電ケーブル以外は使用しないでください。異なるものを使用すると、発火・故障の原因となりますので、絶対におやめください。

●充電が終わったら、必ず充電ケーブルを取り外してください。また、所定の充電時間を終えても充電が完了しない場合も、いったん充電を終えてから充電ケーブルを取り外してください。
所定の充電時間を超えて充電をおこなった場合、内部電池が発熱・発火・破裂する危険性があります。また、電池寿命に影響を与える場合があります。

●着信音量の設定には十分気をつけてください。
携帯電話とペアリングして使用しているときに、着信音に驚いて事故の原因となったり、心臓に影響を与える恐れがあります。

●分解しないでください。
本書の指示に従って行う作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。

●接続に使用するコードを傷つけないでください。
火災や断線の原因となります。

●病院内や航空機の中などでは使用しないでください。
高度な安全を要求される場所では絶対に使用しないでください。特定医療機関や航空機の計器類などの誤動作の原因になります。

注意 ここに記載された事項を無視すると、けがをしたり、物的損害を受ける恐れがある事項です。

●屋外で使用する際は、周りの安全に十分に注意してご使用ください。

●水気の多い場所での使用/保管は行わないでください。
本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因となります。

●小さなお子様の手の届くところに保管しないでください。
誤飲など思わぬ事故を招く場合があります。

●本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用・保管は避けてください。

●車載機器と電波干渉が起こる場合は使用しないでください。
ご使用のお車により、まれに車載機器との間で電波干渉が起こる場合があります。そのような場合は、本製品の使用を中止してください。

●充電中は、本製品およびUSB充電ケーブルの周りに物を置かないでください。 発熱、発火、火災、やけどの原因となります。

●ご使用の際は、接続機器の取扱説明書の指示に従ってください。
本製品は、パソコンや携帯電話などと無線通信による使用が可能ですが、接続先の機器により設定方法や注意事項が異なります。ご使用の際はこれらの機器の取扱説明書をよく読み、注意事項に従ってください。

●定期的に充電をおこなってください。
本製品を長期間使用しない場合でも、1ヶ月に一度を目安に充電をおこなってください。

●日本国以外では使用しないでください。
この装置は日本国内専用です。他国には独自の安全規格が定められており、この装置が規格に適合することは保証いたしかねます。また、海外からのお問い合わせに関しても一切応じかねますのでご注意ください。

■廃棄について

本製品は内部電池にリチウムポリマー電池を使用しています。リチウムポリマー電池はリサイクル可能な資源です。リサイクルにご協力いただける場合は、弊社テクニカルサポートへご相談ください。弊社テクニカルサポートへの連絡先は「サポート修理受付窓口のご案内」をご参照ください。

■その他:こんなことにも注意してください

- ・衝撃や振動の加わる場所、高温・多湿の場所、直射日光が長時間当たる場所での使用、保管は避けてください。
- ・本製品は精密機器です。落としたり、強い衝撃を加えないでください。
- ・温度、湿度の特に高い場所(自動車のダッシュボードや、暖房器具の近くなど)や直射日光が長時間あたる場所、静電気の発生しやすい場所、ホコリの多い場所には置かないでください。
- ・本製品が汚れたときは、水または中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で拭いてください。ベンジンやシンナーを使用すると変形、変色の原因となります。

■電波に関する注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定省電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

●この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
●万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえ、弊社テクニカルサポートにご連絡いただき、混信回避のための処置等(たとえば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
●その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社テクニカルサポートまでお問合せください。

項目	内容
使用周波数帯域	:2.4GHz
変調方式	:周波数拡散方式 FHSS (Frequency Hopping Spread Spectrum)
想定干渉距離	:約10m(障害物のない場合)
周波数変更の可否	:全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

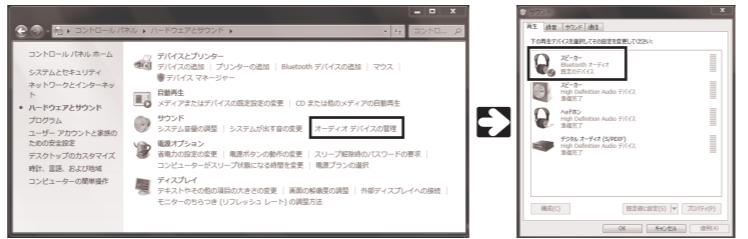
■内蔵バッテリーについて

バッテリーは、正常に使用した場合でも劣化する消耗部品です。バッテリーの消耗は、特性であり故障ではありません。保証期間内においても内蔵バッテリーは有償修理となります。

●本製品を使用せず、長期間保管していた場合、バッテリー性能は低下します。
何回か充放電を繰り返すと回復します。
●周囲温度が低い環境では、持続時間が短くなります。
●リチウム電池はリサイクル可能な資源です。
リサイクルにご協力いただける場合は、テクニカルサポートへご相談ください。

困ったときは. . .

■パソコンの音が聞こえない/マイクから音声が入力できない

パソコン上で、Bluetoothオーディオが既定のデバイスに設定されていない可能性があります。
以下の手順で確認し、設定を変更してください。

コントロールパネルの[オーディオデバイスの管理]をクリックします。

[再生]タブの[Bluetoothオーディオ]の設定が「既定のデバイス」になっているのが正常な状態です。

変更手順

[Bluetoothオーディオ]のアイコンをダブルクリックします。

「既定のデバイス」に変われば、設定は完了です。

マイクの設定は、[録音]タブを選択して同様におこないます。

■携帯電話で通話の音声が聞こえない

一部の携帯電話では、通話中に約20秒以上の無音状態が続いた場合に、自動的に省電力モードになり、イヤフォンジャックの音声入出力がオフになります。そのため、通話中でも音声が聞こえなくなることがあります。
このような場合は、本製品のマルチファンクションボタンを押して、携帯電話の省電力モードを解除してください。

■本製品の電源が入らない

本製品のバッテリーが充電されているかどうかを確認してください。
バッテリーが充電されていない場合は、バッテリーを充電してください。

■ノイズやエコー音が入る

ペアリング相手との距離を変えてみてください。
音量を調節してみてください。

■携帯電話の着信時にマルチファンクションボタンを押しても通話できない

一部の携帯電話では、着信時に本製品のマルチファンクションボタンを数回押さないと通話を開始できない場合があります。マルチファンクションボタンを1回だけ押しても通話できないときは、数回押してみてください。

■通話相手に自分の声が聞こえない

一部の携帯電話では、イヤフォンのマイク入力が有効になるように、手動で設定する必要がある機種があります。マイク入力が無効になっていると、ヘッドセットのマイクからの音声が通話相手に聞こえません。

■着信前に留守番転送されてしまう

着信から留守番電話サービスに転送するまでの時間が短く設定されていると、本製品に音声が転送される前に留守番転送されてしまいます。このような場合は、留守番電話サービスへの転送時間を長めに設定してください。

■Bluetooth搭載機器とペアリングできない

○機器側のBluetooth機能が使用可能な状態であることを確認してください。ペアリングモードが時間切れのため終わっている場合は、再度設定する必要があります。
○ご使用の機器が本製品のプロファイルに対応しているかを確認してください。

■着メロが鳴らない

携帯電話の機種によっては、Bluetoothヘッドセット側の着信音に着メロを設定できないことがあります。

■発信時にヘッドセットが使えない。

携帯電話から発信した場合、スピーカ/マイクを本体からBluetoothヘッドセットへ切り替え操作が必要です。操作方法は、携帯電話の説明書をお読みください。

【一般的な操作】
docomoの場合　⇒ 発信後に、「通話」ボタンを長押しします。
au の場合　⇒ 発信後、「EZ」ボタンを押します。

■他の携帯電話で利用後、毎回ペアリングが必要になった

auの場合、ペアリング済みのヘッドセットでも他の携帯電話で利用後は、再度ペアリングからやり直す必要がある場合があります。

サポート修理受付窓口のご案内

■ 製品に関するお問い合わせ

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、国外での使用、国外からの問い合わせにはサポートをおこなっておりません。
This product is for domestic use only.No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをインターネットでご案内しております。
ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

サポートページ　6409.jp ("http:" は必要ありません)

テクニカルサポート(ナビダイヤル)
0570−022−022
月〜土(祝日営業)10:00-19:00　※夏期、年末年始、特定休業日を除く

お問合せの前に、以下の内容をご用意ください。
- ・弊社製品の型番
- ・ご利用の携帯電話、iPod、ゲーム機などの型番
- ・ご質問内容(症状、やりたいこと、お困りのこと)
  ※可能なかぎり、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

■修理について

製品保証は、日本国内においてのみ有効です。国外からの修理依頼は、保証期間の有無を問わず対応いたしません。
This warranty is valid only in Japan.

製品本体、ACアダプタ以外の付属品*は、保証対象ではありません。
付属品問い合わせ窓口へメールにてご相談ください。
http://www.logitec.co.jp/pro/fuzoku.html
* 付属品の例:イヤーフック、イヤーキャップ、イヤホン、ケーブル類、スタンドなど

依頼の手順、修理依頼書(PDFファイル)をインターネットへ掲載しております。また、修理終息製品の検索も可能です。ご利用が可能であればご確認をお願いします。
http://www.logitec.co.jp/support/service.html

修理は、修理センターへお送りいただいた依頼品を修理(製品交換の場合あり)してご返却します。保証期間中の修理については、保証規定に従い修理します。保証期間の有無が確認できない場合、保証期間を超えた修理については有料となります。ただし、生産終了後の経過期間によっては修理できない(修理終息)場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■修理ご依頼時の確認事項

- ・修理期間中の貸出機、代替機はありません。
- ・保証期間の有無にかかわらず、ご送付いただく際の送料はお客様負担となります。
- ・輸送中の紛失、破損に関して弊社では責任を負いかねます。梱包材を用いて梱包し、必ず発送の控えが残る宅配便にてご送付いただき、依頼品がお手元に戻るまで発送の控えは大切に保管してください。
- ・保証期間内の修理を依頼される場合は、ご購入年月日の確認できる販売店印のある保証書、保証書シール、レシートを添付してください。
- ・依頼品には、お客様の氏名、連絡先(ご住所/電話番号)、故障の状態を書面にて添付してください。

■修理依頼先

〒396-0111　長野県伊那市美すず六道原8268
ロジテック株式会社 3番窓口 エレコムグループ修理センター
TEL:0265-74-1423　FAX:0265-74-1403

●電話受付時間月〜金　9:00〜12:00、13:00〜17:00
※祝日、夏期、年末年始、特定休業日を除く
製品に関する技術的なお問い合わせや、修理が必要かどうかのお問合せついては、テクニカルサポートへお願いします。

Bluetoothボイスチャット用ヘッドセット　取扱説明書
(LBT-PCVM01シリーズ用)
2010年10月 第1版